

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

政策評価シート

政策番号	7
------	---

政策推進の基本方向	政策名称 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	政策担当 部局	環境生活部
強靱で自然と調和した県土づくり		評価担当 課室	環境生活総務課

政策目標
自然との共生が「豊かな暮らし」につながることを理解し、自然環境を保全することに加え、環境負荷の少ない社会づくりを推進することで、より良い地域環境の創造に努め、次世代に伝えていく社会をつくりまします。

政策に対する県民意識調査の結果

県民意識	重視度	令和3年度	81.2% 5位/8政策	令和4年度	86.0% 5位/8政策	令和5年度		令和6年度			
	満足度	令和3年度	40.4% 6位/8政策	令和4年度	39.3% 3位/8政策	令和5年度		令和6年度			
	本政策において優先すべきと思うテーマ			R3		R4		R5		R6	
				割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
	①環境課題の理解と配慮行動の促進			31.0%	7位	31.2%	5位				
	②省エネ行動、再生可能エネルギー等の利用促進			55.8%	1位	46.3%	1位				
	③環境関連産業の振興			18.4%	9位	14.1%	9位				
	④廃棄物の削減や有効活用			45.1%	3位	39.2%	3位				
	⑤廃棄物の適正処理			35.8%	5位	30.2%	6位				
	⑥自然環境や生態系の保全			53.9%	2位	42.1%	2位				
⑦自然環境に関する学びの環境整備等			33.5%	6位	24.7%	7位					
⑧地域資源・多面的機能の保全・活用			38.2%	4位	33.3%	4位					
⑨都市と農産漁村の交流促進や景観形成等			24.5%	8位	20.5%	8位					

政策を構成する施策の成果及び評価(原案)

番号	施策の名称と成果の検証	施策評価の原案
15	環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	概ね順調
	目標指標の達成度から項目①を「やや遅れている」、項目②を「概ね順調」と評価し、環境配慮行動の促進等については一層の改善が必要ではあるものの、再生可能エネルギーの導入や廃棄物の3R等の実績は概ね順調に推移していることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	
16	豊かな自然と共生・調和する社会の構築	概ね順調
	項目①は一部に遅れが見られるものの野生鳥獣による農作物等への被害対策において成果があったことから「やや遅れている」、項目②は農山漁村での環境保全活動等の取組が順調であることから「順調」、項目③は景観への取組が順調であることから「順調」と評価したため、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	

政策課題と対応方針	
政策課題	課題解決に向けた対応方針
7-1 2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して ～地球温暖化対策及び気候変動適応の推進～	7-1 ・地球温暖化対策やエネルギー利用に関する施策の推進のために策定した「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の推進に向けた施策・取組の具体化 ・事業者におけるエネルギー転換や事業用建築物の省エネ対策の促進
7-2 エネルギー分野におけるスマートシティの実現に向けて	7-2 ・持続可能な地域づくりの推進力としての再エネ導入に向けた部局横断的なマッチングの強化 ・地域と共生した再エネの導入・拡大に向けたあり方の検討
7-3 豊かな自然環境の保全と利用の調和	7-3 人と自然の共生を目指した自然保護行政の推進
7-4 豊かな個性と魅力ある農山漁村づくり	7-4 ・デジタル技術を活用した農産物直売所を拠点とする農村物流モデルの構築や大規模施設園芸の誘致 ・農村を支える多様な人材の確保・育成に向けた支援体制の整備
7-5 環境と成長が循環する持続可能な産業の確立	7-5 ・持続可能な水産業を実現するための陸上養殖普及支援 ・未来を見据えた新たな水産資源の持続的活用の推進 ・DX活用による環境調和型水産業の推進 ・宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョンに基づく持続可能な農業の推進

政策目標に対する成果の検証	<p>本政策では、環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立について、環境配慮行動の県民意識への浸透や森林整備の推進等に向け、一層の取組が必要であるものの、再生可能エネルギーの導入や産業廃棄物の3R等の推進については概ね順調に進んでいる。</p> <p>豊かな自然と共生・調和する社会の構築については、近年の自然災害の影響による河川生物の減少や豚熱によるイノシシ個体数の減少により目標指標の達成率に遅れが見られるものの、野生鳥獣の適正な保護管理により農作物の被害額及び被害面積の減少等、被害対策において成果が見られたほか、地域組織や学校教育との連携の強化による農山漁村での環境保全活動等の取組や、海岸防災林の普及啓発、地域特有の景観への取組などが順調に進んでいる。</p> <p>以上のとおり、環境配慮行動の促進等については、一部遅れが見られるものの、県民が最重視している再生可能エネルギー等の利用促進や産業廃棄物の資源循環等について、概ね順調に進んでいることから、政策全体では「概ね順調」と評価した。</p>
	<p>成果の検証を踏まえた評価原案</p>
	概ね順調